

明治アカデミー札幌校
(法務省告示 日本語学校)

共同研究型インターンシップ
企業PR



◆企業の概要・特色

- 2024年4月に法務省の告示校として留学の在留資格で日本語を学びたい外国人学生向けの日本語学校
- 定員は96名で、現在は欧米系の学生を中心とした学校となっているが、2025年からはネパール、インド、ベトナム、ラオスからも学生を集める予定。
- 日本語講師は11名在籍し、全員が常勤で待遇は道内でも高水準
- アルバイト先、寮、奨学金支給制度も充実しており、希望する学生はアルバイト先、寮、奨学金に困ることなく在学ができる。
- 新しい学校のため、既存の日本語学校の概念にとらわれず自由にセッティングをすることができる。

◆本取組で実現したいこと

- 学校事務、学生管理含めた学校オペレーションの仕組化、デジタル化を実現したい。

◆課題として感じていること

- 入管へ提出する定型書類が国や個人によって、集めるべき書類が異なる
- 書類チェックの精度が個人によって異なるため、事務手続きの均質化が難しい
- チェックが目視チェックがほとんどで、デジタルを介したチェックができていない
- 学生管理がアナログで、デジタルを使った効率的な管理ができていない
- 学生の入国時のアセスメント、その後の成績、アンケート、進路希望、アルバイト情報、進路決定、進路後などの情報を一元管理できておらず、学生の長期的な支援を行えるツールがアナログでかつ属人的な管理となっている

◆参加学生の皆様へ

- 入管提出書類というミスの許されない書類の作成において正確性を担保し、よりスピーディに対応できるための仕組みを考えて欲しい。
- 日本語学校へ留学する外国人のタレントマネジメントのための仕組みをデジタルツールを活用して提案してほしい。
- グループワークの場所が必要であれば、打ち合わせをする場所は学校（すすきの周辺）で可能です。
- 2週間に1回程度進捗報告の場を30分程度もちたいです。



